

小金井なかよし市民まつりに参加して

先日 10/14 (土), 小金井なかよし市民まつりが 4 年振りに開催とあって北上ふるさと会から関口しずかさんと熊谷が物産販売の応援手伝いとして参加しました。

小金井市は小金井桜で有名で北上展勝地の桜と深い関係があります。都立公園で第 3 番目の広さを有する小金井公園には玉川上水堤沿いの桜並木を含め、約 1800 本の桜があると言われており、四季折々の花が咲き市民の憩いの場になっているところ大のようですね……

北上市との関係を調べて見ると約 100 年前の大正 9 年に展勝地造園事業に伴い、この小金井からヤマザクラが北上市に寄贈され、大正 10 年に和賀展勝地の名で開園したことから、桜が取り持つ縁で相互に協力関係を維持するようになっている様です。

今回市民まつり初参加ということで、小金井市民の関口さんにバス乗場から同行して頂き、現地に着いたのが 10 時頃でした。まつりのメイン会場である“たてもの広場”周辺は、既に飲食ブースや物販ブースが縦横にズラリと並び、その中央にはダンス・歌・演奏等々の野外ステージが据えられ準備万端となっていました。



物販ブースの一角に“北上市・西和賀まるごと観光・物産展”ののぼりがあり、そのブースで市の販売スタッフ達が忙しそうに準備をしていました。販売品はリンゴのジョナゴール、新米の“銀河のしずく”及び種々名産品のお菓子がテーブルいっぱいにならべられていました。

1 個 150 円のリンゴが飛ぶように売れて、1 箱 36 個入 10 箱 360 個が 13 時には完売しました。また新米 2kg 詰め 1000 円の“銀河のしずく” 30 袋も 14 時 30 頃には完売しました。



ブースに立ち寄った人達から、岩手出身や息子が北上に居る等の声も聞かれ、誰もが心の隅にふるさと岩手があるんだなあ-と思いましたね……土曜日とあって、子供連れの若夫婦・老夫婦・なかよしグループ・恋人たち・ペットとの散歩等々、思い思いに楽しんでいる様な光景を見るとブースに立ちっぱなしで長かった時間もあっという間に過ぎ去った感じの一日でした。

なお翌日 15 日は雨でしたが、開店して物品は完売したとのことでした。(応援：櫻井英子さん・菊池勝子さん)

北上から来た販売スタッフの皆さんお疲れ様でした。また、会場に来ていただいた渡邊会長及び菊池幹事長ありがとうございました。

(記：監事 熊谷 忍)

当市と北上市は交流・友好姉妹都市でこの種のお祭りには
北上名産品の販売ブースが設けられる事から在京北上ふる
さと会から数名応援参加をしています。

(記：熊谷監事)